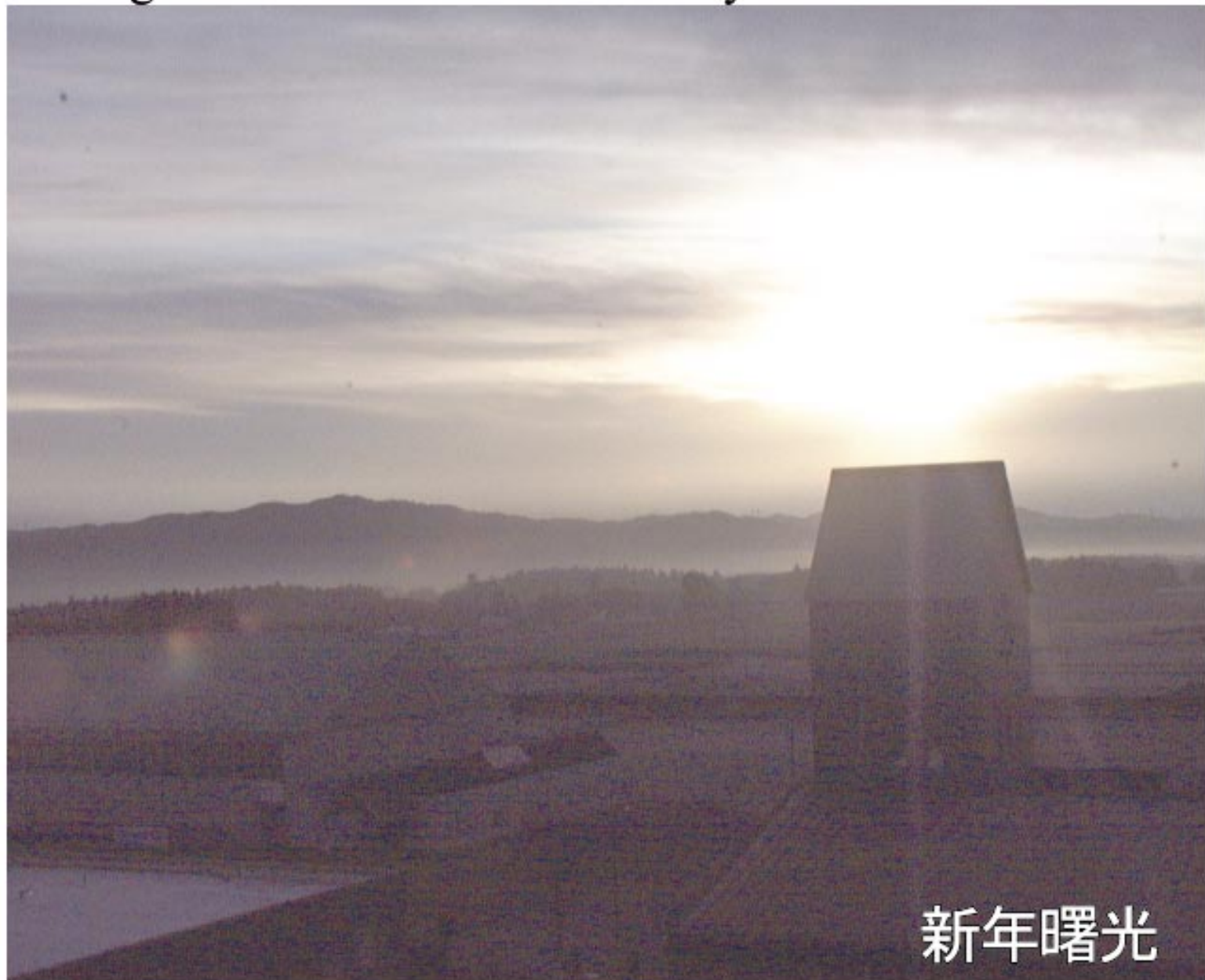


The gazette of International University of Health and Welfare



新年曙光

特集

新年の御挨拶
サークル紹介

English Speech Contest 2001
留学生を訪ねる



発行：学校法人国際医療福祉大学 平成14年1月21日
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線8116
ホームページアドレス <http://www.iuhw.ac.jp/>

新年の御挨拶



理事長
高木 邦格

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は二十一世紀の最初の年でしたが、皆様にとっては、
 どのような年だったでしょうか。

「国際医療福祉大学」は開学より七年が過ぎ間もなく八年目を迎える年としています。昨年三月には医療福祉学部が開設後四年を迎え、本学七学科全てが四年生まで揃った完成年次となり、在学生は大学院を合わせて三三〇〇名を超える規模となりました。大学院では医療福祉経営専攻（修士課程）と保健医療学専攻（博士課程）が増設されました。五〇〇名あまりであった開学時に比べると校内の賑わいも隔世の感があります。学内では各委員会や活発な議論が交わされ、学生の課外活動も充実し、国際交流も海外ボランティア研修活動だけではなく、学内でも「海外保健福祉事情」という科目名で一年より総合教育科目の一つとして開講されています。このように学生と教職員のみなさんの活発な活動の様子をお聞きできることは大変うれしいことです。

また昨年十月には学長が交代して新たに谷学長が就任されました。谷先生は厚生省の保健医療局長などの要職を務めてこられた方で、第四十六回世界保健機構（WHO）総会の日本政府代表をご経験されるなど、医療福祉に造詣が深く、国際力の豊かな新しい学長をお迎えして、新年を迎えられたことは、とても喜ばしいことです。大谷前学長は今後とも大学の建学以来の精神を象徴する総長職に就任いただくことになりました。

今年、四月に保健学部の新たな学科である「視機能療法学科」を開設いたします。この学科では最終的には「視能訓練士」になることを目指すのですが、「視能訓練士」とは、欧米では古くから医療専門職として活躍している専門職で、日本では視能訓練士法に基づく国家資格をもった医療技術者を指し、眼科医と共同でプログラムを組み、視覚障害を持つ人たちの視機能の回復を手助けします。わが国での歴史はまだ浅く、今後一層の人材育成が期待される専門職種です。このような学科は四年制大学の中では全国でも四番目ということで、一クラス四十名でスタートいたしますが、これで本学は人間の身体機能に対して、トータルなりハビリを行う体制が整うこととなります。学科長には北里大学医療衛生学部より

新井田孝裕（にいだたかひろ）先生をお迎えすることになっております。新井田先生は北里大学医学部で神経眼科を専攻、バリジニア州立医科大学で視覚生理学を学び、この分野での第一人者です。

また医療福祉学科では、同じく四月より社会福祉士資格だけではなく介護福祉士資格も含めたダブルライセンスが取得できるようにコースを新設し、四十名の定員増を行います。

次に大学の実習施設については、これまで全国にまたがる沢山の実習施設のご協力を頂いてまいりましたが、中核的な実習施設の整備の要望が強く、今年二月に新病棟がオープンする西那須野の「国際医療福祉病院」については、栃木県北の医療の中核を担うばかりではなく、本学の中核的な実習施設として様々な機能をもたせる予定にしております。開原副学長を中心とする医療経営管理学科のスタッフもこの国際医療福祉病院の立ち上げに協力していただいているところであります。

さらに今年七月には、「国立熱海病院」を本学の附属病院として継承する予定になっております。病床数は二百六十五床でこちらも静岡県東部の中核医療機関として充実した設備を誇る新病棟の建設を今後行う予定です。病院内に温泉もあり、この恵まれた環境を利用してもふたな案を練っているところであります。最後に生涯教育についても考えたいと思います。大学は学生ののための高等教育の場でもあります。同時に社会に開かれた機能でなければなりません。昨今の社会人の向学意欲は目を見張るものがあり、夜間大学院などが熱い支持を得ています。本学でも東京や九州で行っている大学院の遠隔授業や衛星放送により全国に配信している生涯教育講座や医療福祉番組などを通して、医療専門職が生涯学びつづける教育の場を整備するとともに、幅広く一般の皆さんにも最新の情報を提供していくことで、大学としての社会的役割を果たして参りたいと考えております。

現在の日本は経済状況の好転しない厳しい時代が続いていますが、医療機関の収入源である診療報酬のマイナス改定も行われようとしています。

しかし、少子高齢化の進む今日、医療・福祉に対するニーズはこれからも大きくなることは確実です。医療福祉の現場では、複数のスペシャリストがチームを組み、協力してケアにあたる「チーム医療」の必要性が高まっています。国際医療福祉大学は今後も医療・福祉の礎となる人材の育成を全面的にバックアップしてまいります。

最後に今年も学生や教職員の皆さんにとって充実した年でありますよう祈念いたしております。



学長
谷 修一

学生の皆さん、教職員の皆様、新年おめでとうございませう。保護者並びに卒業生の皆さんにおかれても、よい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も昨年の十月に学長に就任以来、教職員の皆様を初め多くの方々のご指導、ご協力をいただきましたことに改めて御礼申し上げます。

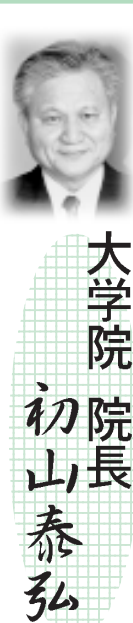
学生の皆さんは学期末試験の季節です。四年生にとつては卒業を控え、就職のための準備や、そして多くの方々が最後の関門である国家試験の受験を控えて、人生の中での一つの節目を迎える時期でもあります。寒い時ですから、頭の準備はできたが体の方が万全ではなかったというようなことのないよう、健康に十分気をつけていただきたいと思います。

教職員の皆さんにとつては入学試験の季節でもあります。本学でも今年初めて大学入試センター試験の導入とともに、試験場としても本学が会場になることもあり、いろいろ重なることとなりますが、よろしく願います。

十四年度には、保健学部視機能療法学科を、医療福祉学科に介護福祉士コースの新設を予定しております。特に介護福祉士の資格取得は、社会福祉士として福祉施設などに就職する方々にとっては、職場での仕事の幅を広げることにつながると考えます。

また、関連施設である国際医療福祉病院の改築整備や静岡県熱海市の国立熱海病院の大学附属病院としての取得は、これによって、実習が更に充実したものになることが、学生の皆さんにとっては最も意味のあることだと考えております。

我が大学も平成七年に開学以来、多くの方々のご支援によって、順調に発展してまいりました。しかし、二十一世紀の最初の二十年間は高齢社会であると同時に、子供の少ない時代でもあります。今年の十八歳人口は百五十万人ですが、十年後は百二十万人と推計されています。このような状況の中で、私は、人間中心の、社会に開かれた大学として共に生きる社会を目指すという建学の精神を踏まえつつ、我が大学が、学生のための大学であることを改めて肝に銘じ、教職員の皆様とともに教育や教育の支援にあたりたいと考えておりますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。



大学院 院長
初山 泰弘

新しい大学院像を目指して

あけましておめでとうございます。

昨春、看護、理学療法、作業療法、言語聴覚障害、放射線・情報など十三分野にわたる保健医療学専攻修士課程の第一回の修士が誕生しました。四月からは、医療福祉経営専攻の修士課程と保健医療学専攻の博士後期課程の二課程が新しく加わり、院生は一二〇名になりました。

また、東京、福岡、柳川と本校とを結んだ同時遠隔授業が開始されました。この遠隔授業は、当初技術的な不安もありましたが、社会人として働く専門職にとつては、現地で受講できる利点があり、大学院の今後の方向性を示すものとして好評裡に進んでおります。このほか、保健医療学博士前期課程に福祉援助工学を設置しましたが、これに伴って大学院棟五階に、バイコン・システムを取り入れた動作解析室がオープンしました。将来は、障害の評価、福祉用具関連の研究なども促進すると期待しております。

本年は、遠隔授業のさらなる充実を図るとともに、四月から、「マスコミ特論」講座を開講することになりました。これは読売新聞社と契約し、現在、第一線で活躍されている記者の方々が、政治、経済、国際、社会福祉など各々専門的な立場から現状を紹介する講座で、ともすると専門分野に偏りがちな院生にとつて、社会的視野を広める良い機会と考えております。授業は、前・後期にわたり、隔週二コマずつ講義していただく予定になっています。

また、新年度は、中国から、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）の六名を院生として受け入れることになりました。現在の中国は、国際的に通用するPT、OTの教育機関がまだ十分に確立していませんと言えません。以前から、中国側はPT、OTの四年制教育機関を設立したいと希望していました。このたび、国際協力事業団の支援を受け、中国のPT、OTの養成機関の教官を指導する専門職員を大学院で教育することになりました。プロジェクトは五年間で十名の院生を受け入れますが、そのうちの半数は、すでに本学の学部教育を終えた、または終える予定の留学生で、このことは、本学が開学以来積極的に学部留学生を受け入れてきた成果であります。

昨年の本学修了生の中には、アメリカNY大学に留学したものの、ベトナムで地域の支援活動に携わっているものなど「国際」に相應しい動きも報告されています。

最近、大学院教育は、従来のような「研究一筋」のみでなく、「有能な臨床専門職」の養成という役割も強く求められるようになり、また、他校と比較して、特色ある大学院像の確立を目標に職員・院生ともに日々学び、努めて行かなければならないと思っております。本年も皆様の「ご指導をお願い申しあげ、新年のご挨拶いたします。

本学の待望の附属病院、ついにオープン！

いよいよ本学にも待望の附属病院がオープンいたします。

国際医療福祉大学では、本年七月に国立熱海病院（静岡県熱海市）の経営を継承し、本学の附属熱海病院（仮称）として運営する予定にしております。本学が継承する国立熱海病院は、明治四十四年に創設されて以来、九十余年の歴史を誇っており、JR熱海駅から徒歩十分、東京から新幹線を利用すれば一時間以内という交通アクセスに優れた場所にあります。

また、海と緑に囲まれた周辺環境も素晴らしく、病院からは相模湾や海上に浮かぶ初島、伊豆大島を一望でき、病院敷地内に温泉も有しております。

現病院には古くなっている部分もありますが、本学では継承後すぐに新病院の建設に着手し、三年後には大学附属病院の名にふさわしい最新鋭の病院を誕生させる予定です。

新病院完成までの間は、現在の建物や設備を効果的に利用して、現在標榜している十四診療科（内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科）に神経内科を加え、十五診療科で運営する予定です。また病床規模は、一般病床二六五床を予定しております。

国際医療福祉大学附属熱海病院（仮称）は、地域の中核病院として臨床医療に貢献するのはもちろんですが、本学における臨床実習教育の中心施設として、また全国の医療技術者が研修・研究に集うセンターとしても運営していく予定です。

そのため新病院完成時には、本学の附属病院として必要な教授室、研究室、図書室、研修施設、実習生向けの宿泊施設なども設置する予定です。

これから学生の皆さんはもちろん、先生方や卒業生の協力によって附属熱海病院を地域の方々に愛される病院に育てていただきたいと思います。国際医療福祉大学附属熱海病院をどうぞよろしく願っています。



▲熱海病院完成予想図

大谷総長にヒューマン大賞

平成十三年十一月二十二日、オムロン京都センタービルで開かれた第十六回ヒューマン大賞贈呈式において、地域の社会福祉に長年貢献した個人に贈られるヒューマン大賞が、本学大谷総長に授与された。（財）京都オムロン地域協力基金立石信雄理事長は、「長年、不当な差別に苦しむハンセン病入所者と共に人権侵害を撤廃すべく取り組んでこられた地道な活動に敬意を表します」と参加者の拍手の中で表彰状とブロンズ像が贈られた。



新病棟オープン！

二月二日（土）、国際医療福祉病院は、隣接地に新病棟をオープンしました。開院に伴い病床数が一四六床に増床となる他、次のような特長を備えています。第一にオーダーリングシステムを導入です。医療経営管理学科教員のご支援のもと、システム導入により患者様の待ち時間短縮等が期待されます。第二に最新鋭医療機器の導入です。CT、MRI、核医学装置、アンギオ等に加え、今年六月には定位放射線治療装置（Cアーチ）が設置されます（当院が世界で六番目の導入）。第三にリハビリ部門の充実です。専属の医療スタッフと広々としたリハビリ訓練室は特筆すべきものがあります。第四に、四月からは夜間救急体制が充実します。外科系、内科系の他に小児科も医師が常任待機する予定です。現在、その新体制に向けて順次整備を進めています。この他にも同じく四月からは産婦人科が新規に開設されるなど、これからも地域に根ざした病院を目指してゆきます。また、大学の臨床実習施設として、図書館や大会議室を整備するなど学生の皆さんには楽しく充実した学生生活を送る上で支えとなる病院になるよう努力してゆきたいと考えています。



サークル紹介♪

～私達、こんな活動してます～

ベル部員も走った師走 石原徳子

「天使の歌声」と称されるハンドベルの音色を聞いたことがありますか。私たちの奏でるハンドベルを聞いたことがありますか。私たちは学内だけでなく、様々な所で演奏を行っているの聞いたことがある方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

後期に入ってからには特に活動も多く、例えば奥沢小学校、佐久山小学校、寺町ほほえみセンターと言った地域での活動、福祉施設主催のクリスマス会での演奏がありました。もちろん学内でのコンサートもしました。珍しい活動としては、結婚式での余興での演奏もありました。

その中で最も大きかった活動と言えば、1～3年生が一緒にステージに立った『クリスマスコンサート』でしょう。実習やレポート課題などがある中、授業の合間をぬって練習、放課後遅くまで練習、早朝にも練習と練習、練習の日々。そして、土曜、日曜は演奏依頼のため休みナシといった目の回るような忙しさでしたが、無事成功させることができました。観客からは、少し早いクリスマス気分を味わえました、癒されました、またコンサートを開いてください、といった私たちの努力が報われるうれしい感想を頂きました。また、このコンサートは3年生にとって最後の演奏をする場であり、3年間の練習の成果が十分に発揮されていました。その演奏は、観客だけではなく、私たち1・2年生の心にも響き、とてもよい目標となりました。



3年生11名は引退し、後を任された1・2年生は18名。この人数では多くの人を癒すには力不足です。ハンドベルに興味がある方、癒されたい方、友達をもっと作りたい方、ハンドベルが聞こえてきたら気軽に教室に入って下さい。歓迎致します。

明るく、楽しい交響楽！ 中村友美

私たち交響楽部に共通していることは、「音楽が大好き」ということです。鑑賞し演奏する楽しさを知っている、そんな仲間が集まった部活です。交響楽といっても弦楽器が中心です。日頃あまり馴染みのない楽器ですが、初心者が大半というのも特徴の一つです。でも、ちょっとした時間に部室に集まり、つこつと練習するので、初心者だったということを忘れてしまう程の上達ぶりです。以前は風花祭だけだった私たちの活動も、去年から増えていきました。

5月、大田原赤十字病院でのふれあいコンサート。入院されている患者さんだけでなく、外来の方々、地域の方々と演奏を通して交流することができ、今につながる活動の原点になっています。7月、11月には在宅介護を受けられている方のお宅での訪問演奏がありました。言葉ではない、音を通してのふれあいなので、一人一人が考えさせられ、音楽の深さを肌で感じる事ができました。10月、いよいよ待ちに待った、新入生にとっては「やってきてしまった」風花祭です。風花祭は私たちが最も重きを置いている、1年間の活動の集大成を披露する場です。唯一の学内演奏であり、新入生にとっては初舞台でもあるこの機会を、楽しみにしてくださる方が増えたことが何より励みになっています。堅苦しいイメージが先行しがちなので、選曲はクラシックだけでなく、ポップス、アニメ等ジャンルは様々です。現在は、マンドリンをソロに雰囲気異なる曲も取り入れることができ、より身近に弦の音色を楽しんでもらえていると思います。今年も大盛況でした。年末は、クリスマスということで、新たに日赤と那須療護園でコンサートがありました。今後も演奏を楽しみながら仲間との交流を深めていきたいと思っています。



第5回公演（踊るあほうたち）を終えて 長岡浩正

昨年12月15日、第5回ダンス部公演が那須野ヶ原ハーモニーホールで行われました。毎回、その年の3年生が中心となり1つのステージを築きあげるため、異なった趣向のステージをお送りしてきました。中でも、今回は過去に例を見ない、異色とも言えるステージではなかったかと思います。

今回のテーマは、「踊るあほうたち」。このテーマは、『ダンスが好き』という思いと、『見に来て頂いた方々に楽しんでもらいたい』という思いから浮かび上がってきたものです。今回のステージは、この2つの思いにふさわしいものだったと思います。見に来て頂いた方々にもきっと楽しんでいただけたのでは、と思います。



自分たち3年生は、これで引退です。しかし、最後に最高のステージを送ることができました。最高の仲間にかこまれ、お互いに支え合ってきた、その結果だと思っています。そして、先輩たちから引き継いできた想いに、自分たちの想いを乗せ、後輩たちにつなぎます。

大学生活の中でダンス部に出会え、本当に幸せです。さらに、3年間続けてきたことが自分の成長の大きな糧となったのは間違いありません。このことは自分たちの宝物です。この宝物を胸にしまい、残りの大学生活、就職後の生活をがんばっていきましょう。

最後になりましたが、今回公演を行う上でご協力くださった方々、わざわざホールの方まで足を運んでくださった方々に、感謝しております。来年もまた異なった趣向の楽しいステージになることは間違いないので、楽しみにしてお待ちください。

飛躍する吹奏楽部をめざして

杉山純子

吹奏楽部が設立されてから7年、部員の人数も年毎に増えていき、ここ数年においては50人以上の安定した編成を組むことができるようになりました。それと共に音楽の幅が広がり、各部員のレベルも着実に向上してきていると自負しております。

私たちの年間活動は、春は新入生の勧誘に始まり、地元の施設や小学校での招待演奏・音楽講習会、夏は後期に向けての合宿、秋は大学祭に地域のスポーツ大会での招待演奏、そして冬は、私たち全部員が総力をあげて行うクリスマスコンサートと、実に充実したものであります。また今年は栃木県アンサンブルコンテストにおいて金管5重奏で銀賞を受賞することができました。部活動を通して地域の方々との交流を深められるのはとても嬉しく、またそれによって私たちの部が広く認知されていくことに大変喜びを感じます。

毎年恒例となったハーモニーホールでのクリスマスコンサートは、私たちの活動を支援して下さいの方々に対して、一年間の活動成果を披露する場でもあります。演奏だけでなく、それぞれの部員が様々なアイデアを出してステージを彩るので、是非一度お越し下さい。

部の設立から7年と、吹奏楽としてはまだまだ未熟な私たちですが、今後さらに演奏のレベルを高め、地域の方々との交流を深めることで、飛躍する吹奏楽部をめざしていきたいと思ひます。



これが軟式野球部だ！

水沼義博

皆さん今日は。軟式野球部です。今回はわずかながら私達の部活動紹介をしたいと思ひます。私達は水、金曜日に大学近くの中学校で練習をしています。そして、春と秋に行われる北関東リーグ戦で、その培った力を発揮するのです。

また、最近の私達はこれがまたスゴいんです。なんと秋季リーグを勝ち進み、東日本大会初出場ベスト8という成績を修めて帰って参りました。試合内容については、ここに書ききれません。もし書くとしたら「IUHW軟式野球部特集～今月は5ページまるごとうちのうらまで～」とかいう題がついてしまうのではないのでしょうか。(笑)詳しく知りたい人は大学校内カフテリアI G F Y前に毎試合後に貼ってある野球部速報を御覧になるか部長の水沼まで。(女性大歓迎！)

最後になりますが、今回の東日本大会によって我が軟式野球部は各々が強くなったというよりも、チーム全体が本当に1つになれた気がします。応援して下さい大学関係、事務の皆様方、OB、そして学生の皆さんに対し、この場を借りてお礼申し上げます。また、これからの軟式野球部の活躍にどうぞご期待下さい。



学生相談室

自分を変えよう、
陽性飛行(思考)の旅

<学生相談室>

- ・L棟1階
- ・開室日時
月・水・金曜日
10:00～17:00

～ご利用下さい～

三月は卒業の時期です。大学という居心地のいい特別な環境からオサラバ。これからは、教科書のない時代へ突入することになります。楽しい卒業と同時に悩みおぼろび不安をもつ学生も多くみられるのではないのでしょうか。卒業するのには社会に出たくないと思ひでいる人いませんか。大学時代に何かやりのこしたと感じること有りませんか。不安悩まは、何か隠しているのではなく隠れているものがあります。それを見つけてみましょう。一人ではなかなか見つけられませんが、友人と話すこともよいでしょう。学生相談室にきて相談することとも多いに役立つと思ひます。希望と不安のなか、思考錯誤。新たな新天地で、新たな心で新出発。活躍を期待します。

在校生よ、学生時代は勉強も重要であります。それと同様(以上)に、学生生活を謳歌することが重要です。多くの友達をつくり、多くの経験をすることが、今後の人生に多いに役立ちます。不安、悩み多き若者よ、学生生活での悩み、学習での悩み、一人で悩まず、まず学生相談室で気晴らしを！折角の学生時代、楽しい、有意義な学生生活をおくろう。

日常の自分を見つめなおそう。何事にも常に努力せよ、常に学ぶ心を失うな、常にポジティブシンキングをせよ。それが本当の自分のリハビリテーションだ。

(学生相談室(学生部長)丸山仁司)

来年こそ大田原マラソンに

参加しましょう！

開学当初より毎年恒例となっている大田原マラソンに今年もはじめて参加しました。本学からの参加者は三十名ほどでしょうか。やる気十分、練習十分の陸上部の皆さん、人体実験を兼ねて(？)参加している丸山軍団こと理学療法学科の皆さん、そして我々毎年ささやかに参加している言語聴覚障害学科連。記録を狙う人、完走を目指す人、目立ちたい人、お付き合いで出た人……それぞれ目的は異なりますが、それなりのペースでがんばりました。

ここで大田原マラソンについてご紹介いたします。今年で十四回目を迎える日本陸連公認のコースです。毎年全国各地から一〇〇名近くの選手が参加します。着替えに県北体育館が使用でき、マッサージの無料サービスもあることからサポート体制が整ったマラソンとして人気が高いようです(ランナーズより)。天気もよく、コースも平坦で記録も狙いやすいとか。かつては浅利純子選手や有森裕子選手も出場していたそうです。昨年はワイナイナ(コニカ)選手も参加しています。以上のように結構由緒正しいマラソンなのです。

しかしこれらはフルマラソンのお話で、我々のような泡沫選手が参加する一〇Kmは地元の人々が中心で、なかなかものですね。いきなりフルマラソンに挑戦するのは無謀かもしれません。一〇Kmであればどんなに遅い人でも一時間三十分くらい走り続けていけばゴールに手が届きます。練習不足でも気合で乗りきれ距離ですね。また、参加賞もなかなかユニークです。Tシャツは一般持田製菓さんのハンドクリーム、カゴメさんのジュース、地元産のお米、なぜか絵馬など、地域色豊かなものが頂けます。

来年も十一月二十三日勤労感謝の日に開催される予定です。大田原での学生生活の記念に、大学の広報活動に、また地元へのささやかな社会貢献として、ぜひあなたも参加してみませんか？

(植田 恵)



Contest 2001 in TUHV

第6回 学長杯英語スピーチコンテスト開催、優勝は看護学科の望月美保さん

12月11日午後6時から、谷学長を迎えて恒例のEnglish Speech Contestが開催されました。今年はどんなケネディが、どんなキング牧師が、そしてどんなフィッシャー女史が、歴史の一コマをE101教室に繰り広げてくれるのか、期待に胸を膨らませて見守りました。クラス代表に選ばれてからコンテストまでの1週間、殆ど毎日遅くまで一緒に練習をした仲間たちでした。先生方や友人に支えられ、壇上では自信溢れる素晴らしい演説を披露してくれました。凛々しく力強い、そして優しいスピーチの数々に惜しみない拍手がおくられました。司会進行は医療福祉学科の枈村浩史さんで、時折笑顔を見せながら、出場者に心を配るゆとりをみせてくれた立派なMCでした。ゲスト審査員は飯沼先生と細井先生にお願いいたしました。入賞順位を決めるのは大変だったとうかがいました。1位は望月美保さん（看護）、2位は清水和彦さん（作業）、3位は井上明日美さん（言語）でした。本当によく頑張りました。学長を囲んで撮った記念写真で見せてくれた全員の笑顔の晴れやかさはとても印象に残っています。そして、学長の英語でのスピーチがコンテストの素晴らしい締めくくりとなりました。（南井紀子）

奥水 奏子（看護）

私は中学の頃から英語が大の苦手でした。それだけに、せっかく選ばれたのだから、できる限りの努力はしよう、毎日練習をしました。その結果、コンテストでは今まで一番のスピーチをすることができました。今、コンテストを終えてみて、自分の中で何かが変わったように思います。「苦手だからできない」というのではなく、とりあえずやれることから努力をするという姿勢が大切であると学びました。また、残念ながら入賞しませんでした。当日応援に来てくれた友人の『すっごくよかったよ』という言葉にとっても救われました。そして、自分は仲間を支えられていたのだという事を実感することができました。

大澤 典久（放射）

コンテスト参加はとても良い経験となりました。日本語でも大勢の人の前で、感情に訴えかけるように表現することは難しいですが、それを英語でするので、より大変でした。参加者全員が一生懸命練習をかさね、その成果がそれぞれ表れていて、発音や表現の仕方など、学ぶことがたくさんありました。入賞はしませんでした。練習の過程や本番のスピーチでも、自分の持っているものをすべて出さくれたのでよかったと思います。

内田 芳男（理学）

コンテスト出場にあたり先生方にご指導いただき、大変感謝しております。スピーチの際はとても緊張し、うまく話すことができませんでしたが、一方で他の出場者の素晴らしいスピーチを聴くことができ、有意義な時間であったと思います。2年間の英語必修授業の締め括りとして、とてもよい思い出になりました。

浅香 博秋（作業）

「キング牧師とはどんな人物なのか。」コンテスト出場が決まって、最初に考えました。スピーチに気持ちを込めるために、本やインターネットで彼の生涯、時代背景、黒人の悲惨な歴史を学び、キング牧師の怒りと喜び、そして「自由」への思いをどのように表現するべきか悩みました。自分では、今回のスピーチで様々な思いを熱くダイナミックに表現できたと思います。今回の出場にあたって応援してくれたクラスメート、バイト仲間、指導して下さいました先生方、みなさん、ありがとうございました。とてもエキサイティングな体験でした。

齋藤 由香里（経営）

大勢の人の前でスピーチをする機会はあまりないので貴重な経験になりました。コンテストに出場できて良かったと思っています。

MC 枈村 浩史（福祉）

Being the Master of Ceremony is not an easy thing. It is up to you whether the contest will be successful or not. I was in E101 almost every day in the 6th period, practicing hard. All that I put into it was not useless. I've learned some skills to be the MC. I would like to express my thanks to the audience, all the speakers, and the teachers. Thank you for helping me.

1位入賞者 望月美保（看護）

Dr. King's speech has so much to offer—about peace, equality and freedom. Because of many sad and terrifying things happening all around the world, his message impressed me all the more. I'm very glad to have taken part in the Speech Contest, and I'm sure all the energy and experience that I had through the contest will help me someday. I appreciate advice and encouragement given to me by teachers and friends. Thank you very much.

2位入賞者 清水 和彦（作業）

I would like to express my thanks to the teachers, my classmates and everyone at the contest. Your support and encouragement helped me. To be the second-place winner is a great honor for me, and I am very happy. I will remember this as one of the highlights of my college life.

3位入賞者 井上 明日美（言語）

When I first heard the Kennedy's speech, I thought, "This is what we should keep in mind. His message is not just for Americans but for all the "fellow citizens" of the world. When he made the speech, the words were his, but many people have treasured his words and their thoughts added to his words. The famous speech is no longer only Kennedy's, but it is in everybody's heart. So I was very happy to be given a chance to convey my feeling and idea through the great speech. I enjoyed being in the contest.

石森 美哉（看護）

I was very happy to be in the contest. As I was the first speaker, I was really tense. But everybody said to me, "Good luck!" And I felt a little better. I appreciate the support given to me. Thank you very much!



English Speech C



肥野 哲幸 (経営)

スピーチコンテストに出場したことは、素晴らしい経験になりました。英語のスピーチのおもしろさに目覚めたのが、コンテストの前日、それから猛練習をしました。最終的には、「自分らしさ」の出たスピーチができたと思います。また、交響楽部としてもコンテストに参加でき、2倍楽しむことができました。最後に、お世話になった先生や友達に心からお礼を言いたいと思います。

入野 真宏 (経営)

スピーチコンテストの本選に出場して、英語の奥の深さを感じました。同じ文章でも、読む人が違うというだけで、聴衆に伝わるものが違うということです。これを機にこれからの人生において国際社会に貢献できるような人になっていきたいと思います。指導していただいた先生方、本当にありがとうございました。いい勉強になりました。

深見 純 (福祉)

本選にむけての練習では、先生方にご指導いただき、少しずつ自分が積極的に取り組んでいくのがわかりました。キング牧師のスピーチを最初はただ読んでいたのですが、練習を繰り返す中で、歴史的背景を学び、一つ一つの言葉の裏に秘められた意味や言葉の重さ、深さを知り、それらを表現することの難しさを痛感しました。当日、コンテストでそれらを表現できたかはわかりませんが、一生懸命全力を出すことができたので、今までにない達成感を得ることができました。今回の経験では、英語の勉強ができただけではなく、なにか物事に取り組む際に積極的に行動すること、自分に自信を持つということ、間違いを恐れないことを学びました。これから将来役立てていきたいと思います。一人では頑張れなかったことも、先生方と友達を支えになってくれました。ありがとうございました。

林 奈穂 (言語)

スピーチコンテスト出場は貴重な経験となりました。コンテスト運営や、熱心に指導をしてくださった先生方、見に来てくださった皆さん、出場者、携わる全ての方々に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。私にとって、スピーチは自己表現のいい機会であったと思います。私なりに私らしく表現できたと思います。先生、クラスメートの皆さん、Thank you for giving me such a wonderful chance.

木藤 哲史 (放射)

某友人のコメント、「お前でも感情だせるんだなあ！」そして某先生のコメント、「授業では、あまりやる気なさそうにしてたのに。」...うん、確かに。英語が苦手、かつ表情の乏しい私ですが、目一杯訴えてみました。一人一人に何かがあるのでしょう、このコンテストは。普段は「物静かな...」なにも言い返せない私。それでも、Let freedom ring!

丸山 貴美子 (理学)

すごく緊張しました。でも、とてもいい経験になりました。「英語で伝える」のは難しいことですが、今回の経験をとおして少しはできるようになったかなと思います。応援してくれた級友や指導してくださった先生に感謝しています。たくさんの人に助けられたから、頑張ることができました。ありがとう。

中野 綾子 (理学)

高校の英語でM.L.Kingを勉強し、時代背景や人種差別を学びました。その時に聞いたスピーチが印象的で、今回選択しました。せっかく代表に選んでもらったのですが、ほとんど練習できずに、本選当日を迎えてしまいました。試験前だというのに、聴きに来てくれた友達に感謝しています。壇上でスピーチしている時に知っている顔が見えるたびに、少しずつ緊張がとけました。他の出場者のすばらしいスピーチを聴くことができたし、私自身も貴重な体験をさせていただきました。

遠藤 幹男 (福祉)

「緊張」「不安」「焦り」等々、ネガティブな言葉ばかりが頭の中を駆け巡っていました。それが本番当日には『程よい』『心地いい』という形容詞がつき、本番後にはそれらがすべて「満足感」になりました。こんなチャンスと喜びを与えてもらってすごく幸せです。ありがとうございました。

p. s. ワシントンのKennedyの墓前に報告ツアーに出かけようかな?!

豊住 景子 (言語)

はじめは、気が重くて、どうしようという気持ちの方が大きかったのです。でも、たくさんたくさん色々なことを考えて、たくさんたくさん人達に元気をわけてもらって頑張ることができました。少し悔いの残ることもありましたが、それはまた私が大きくなるための栄養になってくれる筈です。最後に、みんなみんなどうもありがとう。

宮地 里和 (福祉)

素晴らしい文学等に出てくる名言との出会いは、人に喜びをもたらしてくれますが、今回スピーチに選んだメアリ・フィッシャーの言葉も、私の心の琴線に触れるものでした。その言葉をいかに自分の言葉として発するか、と言うのは思い入れがあるがゆえに大きな課題でしたが、無事やり遂げることができ、嬉しく思っています。ここまでやってこられたのも、多くの方々の励ましがあったからこそです。懇切丁寧な指導を最後までしてくださった先生方、十人十色のスピーチを披露していい刺激をくださった出場者の皆さん、そして毎日のように練習に付き合ってくれ励ましてくれた友人、みんなに心から感謝の意を表したいと思います。

菊池 慎也 (福祉)

We did our best, and we were successful! 車に乗っていても風呂に入っている時も食事をしていてもスピーチのことで頭がいっぱいで大変でした。今はその分、達成感でいっぱいです。本当にいい経験をすることができました。出場者の皆さん、お疲れさま! そしてご指導して下さいました先生方、本当にありがとうございました。

米沢 由紀 (放射)

自分にとって本当にすばらしい体験をさせてもらいました。ありがとうございました。

森井 直樹 (作業)

「なんで自分なんか選ばれてしまったのだろう?」始めはそんなことばかり考えていました。しかし、たくさんの人に励まされて、勇気と自信をもらいました。本番ではかなり緊張したけれどもうまくできたのは支えてくれたみんなのおかげです。大学生活にまたひとついい思い出を作ることができました。本当にありがとうございました。

「大学祭実行委員会からの贈り物」

去る10月に行われた第6回風花祭は、晴天にも恵まれこれまで最高の集客となり、なかでも「原口あきまさ」と「はなわ」をゲストに迎えた初日の芸能ライブでは、1,100人を超える観客動員に成功しました。

実行委員会では、このたびの収益の一部を、今年のテーマのひとつである「バリアフリー」に役立てたい思いから、高松宮記念ハンセン病資料館を運営する財団法人「藤楓協会」と、学内の国際医療福祉リハビリテーションセンターに寄付することとなりました。



▲大谷総長に寄付金を渡す実行委員達

芸能ライブのチケット売上の5%となる32,225円を藤楓協会理事長である大谷藤郎総長に手渡し、また車椅子利用者のための段差解消スロープ（アメリカ製）をリハビリテーションセンターに届けました。

実行委員長の佐藤祐樹君は、「関係者の皆様のご協力とスタッフ一同の努力の結果です。みんなの暖かい気持ちを感じていただければ光栄です」と語り、大谷総長からも「実行委員諸君の努力の賜物として、ありがたく頂戴いたします」と感謝のお言葉をいただきました。（野沢健一）

お知らせ

グラウンドの照明が増えました！

このたび教育後援会から助成をいただき、グラウンドの照明灯が一基増えて、七〇〇Wの水銀灯四基が南北からグラウンドを照らすようになりました。最近、軟式野球部・少林寺拳法部など本学学生団体の全国レベルでの活躍をする団体ができておりますが、今回の照明灯の増設は、こうした部活動のさらなる活性化に大いに役立つことと思います。

教育後援会会員の皆様にお礼を申し上げますと共に、学生の皆さんには団体・個人を問わず、今まで以上に有効に活用されるようお願いいたします。（事務局）

入試課からのお知らせ

- 視機能療法学科（2002年4月開設）の入試について
保健学部今年4月、「視機能療法学科」が開設されます。募集人員は40名（高校推薦10名、一般[前期]20名/[後期]10名）です。※高校推薦は既に終了。
- 大学入試センター試験利用方式の導入について
本学でも2002年度入試より、大学入試センター試験を利用した入試を導入しました。2002年度は視機能療法学科をのぞく7学科での実施となります。
- 一般入試の実施について
一般入試（前期/後期）を例年どおり2月・3月に実施します。センター試験利用入試の導入により、募集人員に若干変更があります。
～詳しいお問い合わせと資料（無料）のご請求は入試課：0287-24-3200まで！～

M棟竣工

J棟とクリニックの間にグレイを基調とした三階建ての新しい校舎が竣工しました。この校舎は平成十四年度に新設される保健学部視機能療法学科と、医療福祉学科内に設置される介護福祉士コースの実習室・講義室として建設されました。

一階は大講義室のほか、介護福祉士コースの実習室を機能的に配置しています。また二階は視機能療法学科の実習室、三階は講義室やゼミ室などとなっています。

「ひとにやさしいまちづくり条例」に基づいた仕様を採り入れたり、各階のホールにガラス面を多くし、明るい雰囲気にするなどしていきます。四月より利用できるようになります。



来年度に向けて掲示の確認を！

来年度に向けた様々な連絡は、これからの時期に掲示板において発表になりますので、掲示には十二分にご注意ください。遠距離帰省や実習でこれからの時期に頻繁に確認できない方は、友人に掲示板のチェックを頼むなどの手段を講じてください。

また、駐車場の登録受付は4月1日から開始の予定です。

フリーマーケット延期のお知らせ

12月22日（土）に開催が予定されていたフリーマーケットは学内に出品希望者がいなかったため、3月中旬に延期することが決定いたしました。電化製品などの大きいものを置くスペースを確保する為に日時・場所は決まっております。決定次第、学生会のホームページなどで随時連絡いたしますので、是非見て下さい。また、出店・献品の受付も継続しています。よろしくお願いします。

学生会ホームページアドレス

<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Library/3994>

同窓会「マロニエ会」入会案内

本会は、同窓生相互及び大学、学科との親睦を図り、併せて母校の発展に寄与していくことを目的としております。卒業生、在学生の皆様には本会の趣旨をご理解いただき、入会手続きをお進め下さいますようお願い申し上げます。

尚、現在、卒業生は入会の特典といたしまして、希望者にスカイパーフェクTV視聴に必要な受信装置（アンテナ、チューナー）の無料貸与及び、「医療福祉チャンネル774」の無料視聴（スカイパーフェクTV！月額視聴料390円は視聴者負担）を提供しております。

今年度の卒業される皆様で、在学時より引き続き医療福祉チャンネルの視聴を希望される方、または、既卒生で新しく視聴を始める方は、ぜひ、この機会に同窓会にご入会ください。（次年度の入会案内は、平成14年2～3月頃に現住所または、ご実家にお送りいたします。）

《お問い合わせ》

国際医療福祉大学同窓会「マロニエ会」事務局
〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1
電話：0287-24-3003 FAX：0287-24-3140
e-mail：office@maronie.iuhw.ac.jp

部会・委員会報告

◆紀要委員会

第八回紀要委員会を十一月二十一日（水）、第九回を十二月十九日（水）に開催いたしました。本学の紀要における論文著者名のローマ字表記を名・姓から姓・名の順とすることが決まりました。第六巻からこの表記法を採用することとし、投稿規定の改訂を行いつつあります。ちょうど一年前のIUHW第三十六号において既にこの事について触れておりますが、名前の形はその国の文化や歴史を背景にしたもので、各国とも固有の形を持っており、それらが尊重されるべきであるとの考えによるものです。第六巻からは例えば国際太郎、福祉花子のローマ字表記は(KOJISAN Taro FUKUSHI Hanako)ということになります。（野原功全）

◆国際部・国際交流委員会

一、本年度を締めくくる国際交流親善パーティを、カフエテリア二階で十二月十二日開催しました。学長、留学生、海外活動参加学生の代表、ホストファミリー、教職員等、約六十名が集まり、交流を深めました。ゲストとして、大田原国際交流会会長、副会長、JICA研修員Ms. Karinki (KMTCC)、Ms. Pamela (ケニア)、Mr. Banda (ザンビア) が出席されました。

二、いつくさ国際文化交流会主催「日本語スピーチコンテスト」が十一月十七日、高根沢町で開催され、本選出場の成命奇君（PT一年）は努力賞を受賞しました。

三、カテナ株式会社より留学生に十九台のパソコンが寄贈されました。

四、講師に長谷川豊教授・KMTCC Project Leader へMs. KIMBU・KMTCC Project Coordinator を迎え、一月八日（火）に「国際医療協力を考えるーJICAケニア技術教育強化プロジェクト」という特別セミナーを開催します。（山崎統四郎・田中美子）

◆教務委員会

一年次単位未取得状況を保護者へ通知
本学では、これまで各学年における単位修得状況と学生及び保護者への指導を各学科へ委ねていたが、平成十四年度から、一年次の前期・後期に各々単位未取得学生について本人及び保護者に全学的に通知し警告することとした。その背景には、登録手続きをせずに、あるいは登録手続きはしたが単位未取得のまま数年間在籍し、その状況を保護者が知らずにいることを防ぐためである。二年次以降の単位取得状況は、学科によって状況が異なることから、一年次のみの通知を行うこととした。あくまでも指導の一環ではあるが、学生の勉学を促す上で必要な方法と考えている。（杉原素子）

◆図書委員会

学生の図書リクエスト制度を存じですか？
平成十三年十二月十二日（水）に開催された図書委員会において、各月の図書館業務報告、今年度実施した蔵書点検調査結果、年末から春期休業にかけての開館予定、各学科・センターの前期分の希望図書購入状況が報告されました。同時に後期分の購入希望図書の調査計画を協議しました。これとは別に、学生の希望により図書館の蔵書を購入するリクエスト制度がありますが、多くの学生がこの制度を知らないのではと危惧しています。詳しくは図書館に問い合わせるなり、教員に尋ねるなりしてこの制度を活用していただきたいと思っています。（野原功全）

◆ボランティア委員会

二〇〇〇年十一月二十四日・二十五日、宇都宮市内「とちぎ福祉プラザ」において「全国福祉教育・ボランティア学会」が開催された。中学・高校における福祉教育や地域におけるボランティア活動の推進について議論された。本学からは、医療福祉学科の学生十八名が運営ボランティアとして参加した。

二〇〇一年、栃木県学生ボランティア・ネットワーク集会在本学で開催されることになつており、本学内でもボランティアサークルの間で学内のネットワークづくりの準備がすすんでいる。（鈴木五郎）

◆就職委員会

四年生：まだ内定を得ていない方は不安で一杯だろうと思います。これからの時期でも特に福祉関係職・診療放射線技師関係は求人票の到着数が増え、最後の「ヤマ」となりまうので、就職情報コーナーに足を運んでください。これ以外の学科の方でも未定者は就職担当の先生や学生課の就職担当者に相談して下さい。一方内定済みの方は国試や就職手続きをミスのないように万全を期してください。

三年生：既にいくつかの企業から求人票が届いており、就職情報コーナーでは三年生用求人票を四年生用のファイルとは別のファイル（背表紙に平成十四年度と明記）にまとめて開示していますので利用して下さい。また学科の先生から「求職票」が配布されましたら、提出期限までに必ず提出してください。就職戦線は始まっています。

学科・センターだより

◆大学院

大学院はいま院生たちの緊張の季節を迎えています。

博士前期課程または修士課程の二年生は十二月二十一日が論文題目・要旨の提出日、一月十一日が論文提出日、そして一月十五日から二月八日までが論文審査・面接試験期間で、二月二十日が発表会と続きます。

博士後期課程の一年生は始めての研究報告会を十二月二十五日に迎えます。一人あたりの報告時間は十分、質疑応答は五分と、修士課程の場合より長めです。その分、中身の濃い討論になるでしょう。

光陰矢のごとし。

少年（少女）老いや早く学成り難し。

皆さんの精進を期待する次第。（鎌倉矩子）

◆看護学科

看護学科新春詞初め
四年生は国家試験勉強真っ只中【朝のこない夜はない】。三年生は実習も終盤戦となり、寒く眠い（sleepy）目を開け（open）実習以

前（ago）より学ぶ姿勢ができて患者様の笑顔が平和（peace）に感じこの頃（SOAP）「行き詰まりは展開の一步である」。二年生は疾病論・方法論を学び、イルミネーションがシナプスに、門松が骨に、星がレーザーポインターに、那須野ヶ原は本を開いた山に見える【黙り虫、壁を破る】。一年生は婆シャツが見直され御身大切。水道管の水抜きと路面凍結に要注意。看護とは、自己の健康管理をすることに始まる【冬の寒さを経れば春の暖かさを知らず】。（久保田隆子）

◆理学療法学科

後期も終わりますが・・・
十二月二十一日で年内の授業は終了しました。この後期、二年生、三年生ともに苦しんだのは口頭試問ではないでしょうか。特に、三年生が十月中旬から七週間かけて十分野の教員に質問を受ける水曜日午後の口頭試問（通称「二〇〇〇問試験」）は、学生さんにとつてはさぞかし重いものであったことは想像に難くありません。過去の先輩が作成した傾向と対策や根拠のない怪情報に振り回される人も見受けられましたが、総じて真剣に取り組んでいたようです。ここで叩き込まれたことが役に立つ場面も必ず出てきます。現在、三月三日の国家試験にそのピークを持つてくるようギアをシフトして勉強中の四年生で、それを感じている人も少なからずいるはず。知識は、「今すぐ」ではなく「いずれ役に立つ（かもしれない）」ことを飼っておくだけの余裕がないと、実際の現場では生きてきません。教員を前に真っ白になつてしまふ二年生の皆さん。対人で自信を持って行動できるように、先輩たちを見習つてもう一步踏み込んでみることを期待します。（谷 浩明）



◇作業療法学科

四年生、総合実習こころうさま！

次は国家試験！

昨年十月二十九日から始まった六週間の総合実習が十二月二十五日に終わりました。この臨床実習のときほど、思い出に残ることはないのではないかと思います。三年生以下の諸君も、四年生の濃密な体験談に耳をかたむけるとよいでしょう。ただし！国家試験勉強で四年生は相当に熱を持っていると思います。新年一月四日から早速、模擬試験が開始されました。情熱の火を絶やすことなく三月三日までがんばってくださいね。（濱口豊太）

◇言語聴覚障害学科

国家試験へ向けて

言語聴覚士の国家試験は三月二十四日に行われます。就職活動が一段落した四年生は、国家試験に向けて着々と準備を進めているようです。毎日図書館や自習室で遅くまで勉強している姿が多くなりました。友人同士励ましあいながら、最後まで努力してほしいと思います。行事の多い時期です。ここで油断をすると、あつという間に国家試験が近づいてきます。ペースを落とさず、皆で頑張ってくださいませ。（菅野倫子）

◇放射線・情報科学科

平成十四年度臨地（臨床）実習

（二十八施設に拡大）

これまでの実習は三年生後期に二班（九月～十月、十一月～十二月の各九週間）に分けて、十三医療機関で行ってきました。しかし、前半は夏休み的一部、後半は冬休みの一部がそれぞれ実習期間に含まれ、さらに各施設とも実習期間が四ヶ月以上で他の放射線養成学校との期間調整が必要になるなど学生、施設、学校でそれぞれ苦労がありました。

来年度以降は三年生全員を一度に実習が行えるよう、十五医療機関を加えた変更承認申請を文部科学省、栃木県に手続き中です。これにより、実習の時期を夏休み冬休みにかからないようにし、さらに一施設あたりの実習生数を減らし、臨床教育の充実を目的とした実習期間の延長（十週）も可能となり、来年からは二十八施設でさらに充実した実習が行える予定です。（新井正一）

◇医療経営管理学科

医療経営管理学科は、今年度からカリキュラムを大幅に改訂したので、今、旧カリキュラムとの移行期で大変です。新しいカリキュラムは、四つのコースを設けてあり、学生はその一つか二つをとって、より専門的な知識を学びやすいようになりました。また、これに伴い、診療情報管理士の受験資格がとれるようにもなる予定です。

昨年はじめて発行された「医療経営管理入門」という教科書は大変好評でしたので、今皆でその改訂をして更によい教科書にしようとしています。ご期待ください。

十二月十五日の土曜にこれはじめての学科の学生、教員の球技大会を開催しました。大変楽しい一日でした。

本学科は新しい国際医療福祉病院のシステムの開発や運営などをお手伝いしています。一月にはいよいよ開院に向けてのリハーサルがあります。教員、学生が勉強を兼ねてボランティアで参加することになっています。新しい病院の開院が楽しみです。（開原成允）

◇医療福祉学科

「先頭を切つて、国試へ。一期生に続け！」

このIUHWが発行される次の土日、医療福祉学科の四年生は学内の先頭を切つて、国家試験に臨みます。一月二十六日（土）の午後は精神保健福祉士の専門科目の試験、一月二十七日（日）には、午前中が社会福祉士・精神保健福祉士の共通科目、午後が社会福祉士の専門科目の試験を受験します。医療福祉学科の合格率は、他学科の国家試験に比べて必ずしも高くないようですが、いえいえそうともいえません。

学科一期生の受けた二〇〇一年実施の社会福祉士・精神保健福祉士の合格率（合格者数：学年定員）について全国の福祉系の大学と比較したところ、社会福祉士七位、精神保健福祉士三位でした。どちらも、卒業生の多い大きな大学が上位に食い込んでいることを考えると、現役学生の合格率では上位トップ三には間違いなく入っているはず（一位なかでは一位でしょう！）

これまで医療福祉学科では全員合格をめざ

して、受験対策プログラムで頑張ってきました。大学生生活の有終の美を飾れるように、ベストコンディションで実力を発揮してください！是非、医療福祉学科第二期生の奮闘をご支援ください。（本多 勇）

◇語学教育センター

TOEIC団体受験がスタートします！

TOEICテストには公開テストと団体特別受験制度（Institutional Program）の二つの受験方法があります。公開テストはTOEIC協会の定めた日程・場所において受験するものです。一方、IPは企業・学校等で任意に日時・場所を設定して受験するものです。公開テストのようにOfficial Score Certificate（公式認定証）は発行されませんが、スコアレポートが送付されます。

このTOEIC IPを本大学で春休みに実施することになりました。TOEICに関心のある方は是非受験してみてください。日時・費用・申し込み方法等については、後日掲示板に掲示しますのでご確認ください。尚、申し込み人数が二十名以下の場合にはキャンセルになります。詳しくは、英語科・宮崎（C151-17）までどうぞ。（宮崎路子）

◇言語聴覚センター

Videofluorography

（VF、ビデオ嚥下透視）検査開始

昨年五月より新美センター長（耳鼻咽喉科）のもとVF検査が開始になりました。

VF検査では、口腔や咽頭での食べ物の移動をビデオに記録して、繰り返し観察し、静止画像で確認・診断を行います。摂食・嚥下（食べ物の取り込みや飲み込み）機能に問題をお持ちの方の評価には欠くことのできない検査の一つです。これまでに小児から高齢者まで幅広い方々がこの検査を受けられ、日々の食事や訓練に役立てられています。

摂食・嚥下障害は誤嚥性肺炎や低栄養の原因となり、命に関わることもあります。食事の際むせる、飲み込みにくいという方は、早めのご相談をおすすめします。（伊藤智彰）

◇基礎医学研究センター

ヒト万能細胞とは何でしょう

再生医学関連のニュースのなかで、しばしば出てくるのがES細胞です。日本語で胚性幹細胞といいますが、最近ではヒト万能細胞とも呼ばれています。

つまり、体のどんな臓器や組織にも成長する能力を備えた細胞で、受精卵が分割を始めて間もない初期段階の胚から取り出し、人工的に増やすことができるのです。

条件を変えて培養すると皮膚や筋肉、神経細胞などに変わり、患者に移植可能な時代がくることを想定して、注目を集めるようになりました。

受精卵を使うのでアメリカでは倫理上の問題で反対論も強いのですが、つい最近、日本では京都大学を筆頭にこのES細胞、ヒト万能細胞の「国産化」研究が始まることになったようです。現在はまだ研究途上の段階で、実用化のメドは全くたつていませんが、万能性を利用する方法が発見されると、臓器提供問題が完全には解決していない現在、臓器不足問題には一筋の明かりがみえてきそうです。（嶋田裕之）

◇健康管理センター

もの言わざるは腹ふくるるわざなり
くよくよ考え事をする時は無意識に空気を呑みこんでいます。たとえばタメ息をついてみて下さい。次の瞬間には唾液をゴクンと呑みこむでしょう。この時に空気を一緒に呑みこんでいます。呑みこんだ空気をゲップで出せばよいのですが、そうでないとその空気が腸の方に行つて腹部膨満感や腹痛が起きます。思い当たる人がいらつしやるでしょう。

「もの言わざるは腹ふくるるわざなり」。昔の人はうまいことを言ったものです。医学的にこれを解釈しますと、あまりひとりくよくよ考え事をしないで人にどんどん相談したりすれば、空気をやたら呑みこむこともなく、腹もふくれることはないのだということになります。（谷 禮夫）

教員紹介

①所属・職位②生年③出身校④専門分野⑤直前の勤め先
⑥主要著書または論文⑦本校における担当科目⑧趣味

福原康司（フクハラ ヤスシ）



①医療経営管理学科 助手
②昭和 46 年 7 月 1 日
③専修大学大学院経営学研究科
④経営組織論
⑤早稲田速記医療福祉専門学校
⑥核心経営
— 企業の存続と発展へのガイドブック —
⑦経営学、経営組織論
⑧ジェットスキー、スノーボード

岡田吉隆（オカダ ヨシタカ）



①放射線・情報科学科助教授
②1959 年
③東京大学医学部
④腹部画像診断学
⑤東京大学医学部放射線科
⑥腹部 CT の読み方（2001 年、中外医学社）
⑦画像解剖学、画像診断学
⑧特になし

須田利佳子（スダ リカコ）



①看護学科・助手
②1961 年 6 月 8 日
③山形大学大学院医学系研究科看護学専攻
④成人看護学
⑤大宮赤十字看護専門学校
⑥がん告知後に手術療法を受ける
患者のストレス体験の変化
⑦臨床実習及び技術演習
⑧茶道

「私が感銘を受けた本」 （第 15 回）



書 名：坂の上の雲 全 6 巻
著者名：司馬遼太郎
出版社：文芸春秋
紹介者：放射線・情報科学科
井原 廣一

明治維新にかかわった名の知れた志士の物語は、数多く紹介されているが、この時代にやや遅れて、伊予松山に生を得た三人、騎兵隊を創設した日露戦争の豪傑秋山好古と実弟の日本海会戦の名参謀秋山真之、そして俳句革新の正岡子規の物語である。明治維新後のいまだ行方が定まらない発展途上国であった時代に、市井の若者が与えられた環境で、精一杯努力して、何時の間にか後生に残ることを成し、世界を相手にして一生を終えた姿に心打たれた。自分の岡の上の雲は何なのであろうか。あるいは、何であったのだろうか。

図書館の大谷総長著書の右側の書棚に置きます。
ご愛読下さい。（図書館長）

I UHWクイズー第2 9弾ー 当選者発表

前回は、クリスマスに関連した問題でした。難しかったですか？簡単だったですか？さて、幸運にも旅行ギフト券を手に入れられる方は・・・放射線・情報科学科の 1 年生、両角拓哉さんに決定致しました。おめでとうございます。学生証持参の上、L 棟の学生課までお越し下さい。

前号の解答

1・・・a. ドイツ 2・・・c. コカコーラの公式商標の色 3・・・d. キリバス共和国 4・・・c. キンモクセイ

リレーエッセイ

絵を描く楽しみ 看護学科 豊嶋三枝子



この土地に来て、なぜか絵が描きたくなり、パステル画を時々描いています。パステルは画材も手軽でいろいろな描き方を楽しめます。基本的には自分の指を使ってパステルを塗り重ね、組み合わせで好みの色を出します。塗り込めば油絵のように見え、さらっと仕上げれば水彩画のようにもなります。けっこう奥の深い描き方ができるのがパステルのおもしろさなのです。パステル画教室で 2 時間程集中して描き、他人の絵を観たりしているとなかなかいいストレス解消になります。他人の絵を観ると、その絵を描いた人の本当の性格がわかるような気がします。表面はおだやかな人なのですが、絵は力強く色彩も派手で個性的であったりすると、絵を通じてその人の本当の姿をみたようでうれしくなります。ちなみに私は、めりはりをつけてはつきりと描き、描き始めると早い時間で仕上げてしまい、構図や技術を無視した自分の感覚に忠実な描き方であり、まさに純粋な楽しみとして絵を描いています。こんな風にストレス解消法として絵を描き、そして完成した絵を額に入れて一人で悦んでいるのが私の絵を描く楽しみなのです。老後の目標は、油絵に挑戦して日展に出展することかな、...、と思ったりしております。

次回執筆者 岩本操先生（医療福祉学科）

私の研究ノート

看護学科 中村 勝



私は「精神看護学」や「国際看護論」を担当していますが、ここでは国際関連の研究について述べていただきます。対象としている国はベトナムで、南部のメコンデルタ地域にあるドンタップ省タンビン郡の実態を踏まえ、近年、問題になってきているヘルスネットワークシステムの空洞化について進めている調査研究です。

そもそもベトナムは条件が類似する国（例えば、隣国のカンボジアなど）と比較すると保健状況はかなり良好で、その改善に役立ったのが度重なる戦禍のなか少ない予算で整備することができ効率的な管理機構として考え出されたヘルスネットワークシステムでした。要は国→省→郡→村（→部落）のルートで情報やモノを流し、各単位の自活も促すという北部で考え出された管理システムですが、戦争中からそれ以降は保健レベルの向上に大いに貢献しました。現在も国家の保健計画、とりわけプライマリーヘルスケアの整備、人口家族計画の推進、マラリア対策の現地指導などはこのシステムの組織力に大きく依拠しています。ところが診療行為も含め、地域住民の健康維持活動の中核を担ってきた村の診療所や郡の医療センターを住民が利用しないケースが増えてきています。とくに村の診療所は深刻です。これを「ヘルスネットワークシステムの空洞化」問題といい、背景には予算の絶対的不足に起因するとされる様々な実態があります。例えば、医療機材の全般的な老朽化、不十分な病院管理体制、都市部と農村山岳部との医療サービス格差の拡大などです。その一方、地方でも経済発展に伴う貧富の格差が生じてきており、経済的に余裕があれば少しでも良い医療を受けようと都市部の大病院や個人医院に行く人たちも増えました。しかし、その結果、村の診療所では診療できない、勉強できない、お金にならないといった状況が生じ、医師や看護婦の来てがなという実態が起きてきています。まさに貧困層の人たちは十分な治療を受けられないばかりか、国家の保健計画すら末端にまで行き渡らない問題状況です。これは国全体の保健状況の悪化を再び招きかねない問題でもあります。社会主義体制を敷いていながらも市場経済化を強力に推進する昨今では医療機関も独立採算が第一の目標となっています。十分でない国家予算を社会基盤の整備や経済政策ばかりに偏重せずどのように配分するか、また先進国からの経済支援に依存せず如何に国民の健康や生活を守るか、それこそがベトナム政府が突き付けられている最重要課題の一つといえるのではないのでしょうか。

留学生を訪ねる

国際医療福祉大学には、様々な国からの留学生が来ております。今回は、そういった方にインタビューをしてみたいと思います。



▲劉建華さん

―自己紹介をして頂けますか。
劉建華（リュウ ケンカ）と申します。中国は、北京から来ました。理学療法学科の四年生です。日本に来て、四年目にもなります。

―どういった経緯でこの大学に来られたのですか。

私は、この大学に来る前は、中国にあるリハビリテーション研究センターにいました。一九八八年くらいから、日本のリハビリテーションの専門家の先生に教えてもらいながらPTの仕事をしていました。しかし、仕事をしていると、色々な問題が出てきます。日本の先生はすでにいなくなっており、解決できない問題もありました。中国には、リハビリテーション専門の先生がまだいないのです。ですから、もし日本で大学に入ると、勉強して免許がとれたら、なんとか出来るんじゃないかと考え、その意志をリイダーに伝えました。すると、もし今度チャンスがあれば行かせてあげると言われました。

毎年国際医療福祉大学では、海外研修活動を行っていますよね。そして、初めて、この大学に来てみてどういった印象を受けましたか。

て、中国での活動の場が先程のリハビリテーション研究センターなのです。ちょうど、私が入学した年に初めてそれが始まりまして、そういった関係でこちらの大学に入学することが出来ました。

―国籍は中国ですよ。それで、日本の免許はとれるのですか。

はい、大丈夫です。学生として、規定の単位を取得すれば、取ることが出来ます。

―以前から、リハビリテーションの勉強をしていたのに一年生からやり始めたのはどうしてですか。

確かに日本の専門家から教えてはもらいましたが、もう一回、最初から勉強し直して免許を取りたかったからです。

―どうして、日本の免許をとるのですか。中国で資格をもっていたのではな

いですか。
中国には、仕事の内容は似ているけれど、PTの国家試験というものは無いんです。日本で資格を取れば、それは世界で通じることが出来ますから。中国では、多分これから出てくるのだと思います。

―日本に来たとき、言葉は大丈夫だったのですか。

全然しゃべれませんでした。ですから大学に来て専門の勉強をしながら、日本語の勉強をし始めました。

―では、最初の頃は授業が分からなかったのですか。

そうですね。全然分かりませんでした。試験の時は、漢字はだいたい読めるから、なんとか六割くらいの意味は分かりましたけど。



▲楽しそうにお話してくれた劉さん。

私は三十数年間、北京の市街に住んでいました。にぎやかではあるのですが、勉強に適している環境とは言い難かった。その点、ここはとても静かな、庭園のような場所だと思いました。すぐに好きになりました。

―他の留学生達との交流はありますか。もちろんです。看護とか理学の先輩達には大変お世話になりました。

―大学生活は楽しかったですか。

確かに一、二年生の時は言葉に苦労しましたが、それもいい思い出です。生活や勉強では、先生方にお世話になりました。楽しかった反面、今は、なかなか寂しい感じがします。

―卒業したら、郷に帰るのですか。

中国に帰って、向こうで役に立てればいいと思っています。でも、大学院に行くかも知れませんけど。とにかく、今は三月三日の国家試験に向けて一生懸命勉強しています。

―そういった状況の中、今回はインタビューに答えていただきありがとうございます。そしてこれから中国での活躍を心より祈っております。

編集後記

初めて大田原での冬を迎えました。那須岳から吹き下ろす風は強く、寒さも確かに厳しいですね。そんな冬の雑木林を歩くのは楽しいものです。すっかり葉の落ちた明るい山道のふんわりした落ち葉や小枝を踏みしめる感触や音や匂い。静かな森の透き通った大気の中では、感覚が鋭くなったような感じがします。

今回のIUHWは、学生たちの若いエネルギーを大いに感じる内容になりました。第6回スピーチコンテストしかり、学生サークル紹介しかりです。21世紀の医療福祉を支える若者たちにエールを送ります。
(哇上恭彦)

IUHWクイズ ～第30弾～

今年の干支は、馬。力強く飛躍するという期待を込めて今回は馬に関連した熟語クイズです。以下の意味に合う□の漢字を考えてください。

解答用紙に記入したら、事務局窓口外側にあるメールボックスへ投函してください。正解者の中から、抽選で1名に旅行ギフト券をプレゼント。締め切りは、2月28日（木）です。

問題

- カラスの頭が白くなり、
馬に角が生えるというような全くありえないこと―烏□馬□
- 経験豊富でしたたかなこと―□軍□馬
- 何を言っても少しも反応がないことの例え―馬□□風
- 牛や馬のように、大いに飲み食らうこと―牛□馬□
- 幼児からの親しい友―□馬之□
- 所々方々をたえず旅していること―□船□馬

解答用紙

学科 学年

名前

解答

1. 2.

3. 4.

5. 6. うま

